



広報 **あくな**

阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数 (4月1日現在)	
人 口	29,561 (-270)
男	13,800 (-129)
女	15,761 (-141)
世 帯 数	9,713 (-28)



59年  
4月号

「ありがとう、よか気持っじゃ」

一人暮らしのお年寄りを慰問……鶴中生徒会

「ありがとう、よか気持っじゃ」  
市内鶴川中学校の生徒会が三  
月二十六日、校区内に住む一人暮  
らしのお年寄りの慰問を行い、た  
いへん喜ばれました。

回校は、五十八年度から県のホ  
ランティア活動の推進校に指定さ  
れ、これまでも区内のお年寄り  
につきえを贈ったり、市内の老人ホ  
ールに出かけ車イスの整備などの  
奉仕活動を続けていいますが、こ  
日の慰問もこの活動のひとつで  
「お年寄りを大切にしよう、そし  
て社会に役立つ、思いやりのある  
人になろう」とをねらいに、生徒会  
(会長 赤坂敏史郎君)が旗頭、く  
りから当日の活動予定など計画し  
て実施しました。

この日は、区内三十一人の一人  
暮らしのお年寄りのうち、病院に  
入院している人を除く二十一人が  
対象で、三人から四人で一組をつ  
くり訪問しました。

お年寄りの家では、顔をだたい  
てあげたり、庭の草むしり、洗だ  
く、掃除の準備と奉仕に汗を流し  
ました。日ごろ一人暮らしで寂し  
い思いをしているお年寄りの方々  
も、この日は一日「ニコニコ」あ  
るお年寄りは「カサで寝ていたガ  
ラスをもたでもらってスッキリした  
ありがとう」とお礼を言ってい  
ました。

# 21世紀につながる 個性豊かな魅力ある阿久根へ

## 市勢の発展と市民の 福祉の向上に努力

川畑市長は三月八日開会された第一回定例市議会において施政方針演説を行い「国・地方公共団体ともに財政的に厳しい状況の中、限られた財源の効率化を図り、節度ある財政の運営に努力する」ほか「公正で均衡のとれた市政を執行する」ことを施政の理念に、「港と陸の調和のとれた活力ある阿久根をつくる」ことを基本としながら、過去五年間の実績をもとに、人口増対策、市民の所得向上対策を「本柱」として、各種の諸計画に盛り込んだ事業を積極的に推進していくことを発表しました。次に発表の全文を紹介いたします。



施政方針演説を行う川畑市長

昭和五十九年度第一回定例市議会の皆様のご理解をいただき、市政会の開会に当たり、市政に対する推進に一層のご協力を賜りたいと所信を申し述べ、議会並びに市民存じます。

政府発表の昭和五十九年度経済見通しによりますと、世界の景気は、国別競争性はあるものの原油価格の安定、物価の落ち着き、雇用の好転等を背景として回復に向かつて緩やかながら着実な歩みを見せております。

しかし、我が国の現実は、巨額の国債累積と大巾な財政の赤字により極端な不均衡を生じている状況にあり、経済運営の政策選択の弾力も失われつつあり、財政を取りまく環境は極めて厳しい状況であると認識せざるを得ないとしております。

加うるに我が国の社会構造上の特徴として人口の高齢化、経済成長率の鈍化、国民の価値観の多様化、高度情報化社会の現出など様々な面で急速に成熟化社会へと移行しつつあります。

政府は、これらの諸状況をふまえながら、昭和五十九年度予算の

編成に当たって、行政改革を強力に推進し、速やかに財政の対応力の回復を図ることが最も緊急かつ重要な政策課題であるとし、特別公債依存体質からの脱却と公債依存度の引き下げを図るため、既存の制度施策について抜本的な見直しを行うなど、更に徹底した節減合理化と財政の重点的配分により予算規模を厳しく抑制した編成を行っているところであり、

このことは、地方公共団体にとりましても引き続き収支不均衡の状態にあることになり、国と同一基調に立ち経常経費、投資的経費を通じて歳出の抑制を徹底して執行し、限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化を図り、節度ある財政運営を行うこととし、併せて収入の確保を図り、収支不均衡の是正に努力しなければならぬ事態にあると理解しているものであります。

### 五年間の実績にさらにプラス

私は、市長に就任して以来一貫して「公平で均衡のとれた市政を執行する」ことを施政の理念として掲げ、職員に對しても行政執行の原点としてこのことを強く要請しているところであります。

また、産業振興、市勢の浮揚発展の基本目標を「陸と海の調和のとれた活力ある阿久根をつくる」とを基調として鋭意施策の推進に努力を傾注して参りました。このことにつきましては、議会を始め市民皆様のご理解、ご支援のもとに過ぐる五年の間、一応の前進と成果を挙げ得たものと思つ次第でございます。



しかし、現今の厳しい社会情勢のもとにおきましては、なお一層市民参加のもとに、全市民の英知を結集して市勢の浮揚発展のための施策を推進していく必要があると考ふる次第であります。

## 人口増、市民の所得向上対策が柱

施策の基本方針といたしましては、二十一世紀につながる阿久根市の展望に立ち、かつ、個性豊かな魅力あるまちづくりを図るため

一つめは「市民の日常生活に密着した施策の充実」  
二つめは「より広域的な観点に立脚し、民間の活力を引き出す促進剤としての施策の推進」  
三つめは「行政サービスのより一層の向上と効率化」  
等を配慮しながら、かねてから市政推進の二本の柱としております人口の増加対策、市民の所得の向上対策に全力を挙げ真剣に取り組んで参る所存でございます。

「新阿久根市総合開発計画」、「阿久根市過疎地域振興計画」、「阿久根市辺地計画」等諸計画に盛り込んだ事業を基軸にした産業の振興、企業の誘致、教育文化の向上、道路交通網の整備、市民福祉の充実や生活環境の整備などを積極的に推進して参る所存でございます。

以上のような観点に立脚し、昭和五十九年度の子算編成に当たっては従来にも増して経費の節減をし、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に徹し、節度ある財政運営を行うことを基調としながら、なおかつ行政水準を低下させないで住民福祉の確保に努力することを基本的な方針といたした次第であります。

## タケノコ、カマイモ、シラタマなど 「ふるまの味の味」加工場を

それでは、次に昭和五十九年度予算に盛り込まれた主な施策についてその概要を申しあげます。

たいと思います。

### 今年、折多小学校へ 入学した新一年生

産業の振興につきましては、農畜産物の自由化等国の内外に難かしい課題が山積する中で、更に水田利用再編第三期対策の推進など厳しい対応を迫られている状況でございますが、は場整備の促進、特産野菜の施設化等農業生産基盤の整備と近代化を積極的に推進して参りたいと思ひます。併せて、

担い手農家や農業集団など中核農家の育成を図り、自主的な経営改善の意欲を喚起しつつ、地域の特性を活かした農業の振興を図って参りたいと思ひます。

# 桑原城地区の構造改善に着手

## 田代には山村開発研修センター

構造改善は、赤瀬川地区を引き続き実施するほか、本年は桑原城地区を着手したいと思ひます。

農村総合整備計画に基づきモデル事業は、従来に引き続き用排水路の改良や農道の新設改良を主として推進して参ります。また、各種事業による農道の整備、土地改良事業も併せて実施いたしますが、県営による排水対策特別事業も五十九年度から五年計画で着工の運びとなっております。

林業は、森林資源の確保と林野の開発という面から国土保全上の重点施策として諸事業を導入しておりますが、本年は、林業構造改善事業を引き続き実施するほか、林道、作業道等の整備とあわせ、新たに辺地対策事業として山村開発研修センターを建設いたします。また、市の基本財産造成のための市有林造成事業も計画的に進めて参ります。

## 栽培養殖事業 60年度から実施に

次に水産業について申しあげます。我が阿久根市は、古来より南



施設が整備される折口海岸

## 観光地を整備し 特産品の売り出しも

商工業は、近年の経済状況の低迷による厳しさもさることながら、商業診断の指摘にもありましたように立地条件、規模の零細性、生産性、売場効率の低さなどが阿久根市の特性として挙げられるのであ

施し、六十年年度から事業を実施する予定であります。一方漁船の基地として漁港、港湾の整備拡充を引き続き実施して参ります。即ち第七次漁港整備計画に採択されております阿久根漁港修築事業の促進を始めとして、

脇本漁港の改修事業も継続いたしますが、牛之浜漁港については五十九年度から改修事業に切り替えて整備を進めます。港湾整備としては、高之口港改修事業、大瀬、小瀬各港の局部改良事業等の事業を実施いたします。

また、観光の面におきましても、九州西海岸観光ルートの拠点として観光ルート施設の整備充実などを進め、阿久根の観光と特産品の開発、売り出しに努めたいと思つた次第でございます。

## 市道の舗装率

### 92%を目標に

次に土木事業関係について申しあげます。

道路は市民生活に直結し、産業の振興に最も関連するものとして、就任以来最重要施策のひとつとして大巾な予算配分をし、改良整備に努力をいたしているところであります。

昭和五十九年度は過疎対策事業、

## 誕生

### おめでとう



出生児	保護者	区名
田添 美香	良久(上桑原)	
大田 希	和孝(波留)	
濱田 先生	光教(波留)	
松水 洋介	国治(濁)	
川口 賢一	芳親(一段)	
別府 博幸	徳幸(折口東)	
榎原 愛実	弘信(波留)	
小半田 郁美	伸雄(大尾)	
貴島 忠	恵一(波留)	
栗林 留美	健治(寺山)	
迫 明子	正明(一段)	
福田 雄典	善弘(波留)	
井ノ上 貴之	和秀(新町)	
上村 明美	幸生(梅)	
大草 真心	唯明(脇馬場)	
中原 清	隼夫(鶴田)	
松崎 洋治	元治(寺山)	
福留 美織	一美(黒之浜)	
寺下 優貴	富雄(楊之東)	
福浦 舞	英明(黒之浜)	
川辺 弥生	軍吉(大湖川)	
平岡 賢二	秀孝(中村)	
的場 哲也	三夫(仲仁田)	
中村 あすか	李昭(牛之浜)	
福田 新吾	末夫(佐海)	
前田 千春	和巳(一段)	
花木 小枝	幸一(仲仁田)	
内田 広宣	昭則(山馬場)	
花木 貴裕	雅昭(高之口)	
桑原 さやか	幸夫(下桑原)	



改良が進む高之口山下線

臨時地方道整備事業、電源立地促進対策事業、辺地対策事業等を主財源として新設改良を実施するほか、舗装、オーバーレイ等維持修繕も併行して進めたいと考えます。計画では舗装七、四九八、改良三、八一九、を実施予定であります。これが完成する年度末には総延長三二五。のうち、改良済二二〇・八、改良率三八・三、舗装延長二九一・一、舗装率九二・四になる見込みであります。このほか、県道整備事業も引き続き実施して、市民の生活環境の改善を図りたいと思ひます。

国・県道につきましては、関係

機関に対し整備改良と促進を働きかけて参りますが、重点要望箇所として国道三三九号の国道三三九号までの取り付け区間と国道三三九号無バイパスの早期完成に力を注いで参りたいと思ひます。

### 「番所丘公園」60年度から本格的に事業実施に

県道では、阿久根市浮揚の眼目と期待されております阿久根東郷線が昨年より着手工いたして参りますので、これの全線早期完成に向けて邁進して参りたい

と思ひます。また下東郷阿久根線につきましても併行して促進を図って参ります。

都市計画につきましては、懸案でありました市街地区の用途地域の指定を行い、土地の利用誘導をしながら計画的な都市計画を推進し、住環境の保全を図ってまいりたいと思ひます。また、大型の都市公園として計画をいたして参ります「番所丘公園」を今回開発公社に対する債務負担行為として提案いたしますが、五十九年度において実施計画を策定し、六十年年度から用地購入等具体的に予算化して、

事業を着手して市民のレクリエーション、憩いの場として整備を図ってまいりたいと思ひます。

### 池尻川も引き続き改修します

上野都市下水路も引き続き実施するほか、街路事業も継続して参ります。一方住宅行政については、年次計画によって市営住宅の建設を進めて参りますが、本年度も引き続き建設し、県営住宅の誘致とあわせて市民の住宅不足の解消に努力して参りたいと思ひます。

## 保健センターで健康づくりを

### 大川診療所にも近く医師

民生関係について申し上げます。市民の健康の維持増進のため保健センターを中心にして各種健康相談、健康診査、予防注射等保健サービスに充実に努力しているところであり、本年も胃がん、婦人がんの検診等を重点的に実施いたします。

また、医師の退職により一時休診して参りました大川診療所は、新たに医師の招へいの目途がつかまりましたので、地区民の医療の確保、



健康の保持を図るため近く再開の運びになって参ります。

消防の充実につきましては、市民の生命、財産を保護する重要な使命を帯びていることに鑑み組織の整備強化、機械器具の近代化、水利の確保など継続的に整備して参りましたが、昭和五十八年度を以って一応全分団の機動化を完了いたしましたので、今後消防ポンプの買替分につきましては地元負担の解消をいたして参りたいと思ひます。このほか、引き続き防火水槽を設置し、水利の確保を図って参りたいと思ひます。また、新たに簡易水道地区にある消火栓にかかわる維持管理の費用についても助成することにして参ります。

このいふくをお祈りします

濱崎 ツミ	78 (大丸) 末幸
上野 子子	53 (羽田) 仙吉
中野 ユキ	76 (新町) 繁
奥平 清春	43 (川畑中) ハツノ
陳ノ内 正則	60 (陳之尾) ミユキ
花木庄 右衛門	76 (本ノ牟礼) フェノ
藤園 吉武	63 (大川島) セキノ
坂元 徳二	92 (浜一ツ) ユ
久保 直助	75 (新町) ハツミ
谷口 貞雄	67 (遠見ヶ丘) 安明
小牟田 アイノ	93 (上野) 富治
川畑 有藏	68 (川畑中) アイノ
的場 清太郎	84 (仲仁田) 三夫
牟禮 五之助	76 (牛之浜) 不二夫
飛松 ハツ	81 (飛松) 謙雄
高原 重吉	89 (長谷) ソダ
上野 ハツ	80 (上野) 愛蔵
福水 秀	72 (新町) ハルエ
瀧門 ヤエ	87 (尻無下) 茂
橋手 ワキ	75 (橋手) 克美
土田 すみえ	74 (大丸) 純夫
寺園 ケサ	81 (大下) 義治
末吉 盛藏	79 (遠矢) 喜良
鶴園 利男	35 (尻無中) フイノサ
尻無 ナヤ	78 (尻無中) ヨツミ
若松 阪二	75 (尻無上) ツキ
原崎 ハツ	91 (新町) 和人
川畑 ハル	90 (可木野) 鉄巳
柏木 良雄	74 (古里) シツカ
八郷 市郎	95 (八郷) 三幸
下石 弘	62 (黒之上) チカノ
坂元 達郎	60 (黒之浜) キヨノ
松崎 栄蔵	66 (瀬之下) トヨ

# 尾崎小にプール。ナイター施設を脇本地区運動広場に

次は教育について述べたいと思います。教育の如何によっては国家百年の消長に影響することは歴史に照らし明らかなることであり、今日程教育の重要性が声を大にして叫ばれている時代もまた過去においてもなかつたと思いません。我が阿久根市においても市民の声として教育効果の向上を望む声が強くなっており、次代を担う青少年の健全育成の場の確保、望ましい教育環境の醸成の為に最大の努力を払って参りたいと思つ次第でございます。

## 大川中、阿中の危険校舎も改修

学校施設の整備につきましては、意欲的に計画的にその改善を図って参りましたが、昭和五十九年度は大川中学校、三笠中学校の危険校舎の改築と阿久根中学校の改修を行います。また、尾崎小学校にプールを建設いたします。このほか、鶴川内中学校の危険校舎の残された部分の改築につきましてもできるだけ早い機会に提案する予

## 総合運動公園の基本設計に着手

定であります。ソフト部門といたしましては、児童の健全育成のための読書推進事業を実施して、情操豊かな人間性を持つ青少年を育成して参りたいと思つております。

保健体育の面では、総合運動公園の基本設計を委託し、市民のスポーツ、レクリエーションのセン



とい思っています。また、奨学金の貸付け額の増額も行い、経済的に修学困難な方に学資の貸与をして有用な人材の育成を図るものであります。

昭和五十八年度において、建設しました「青年の家」が完成いたしましたので青少年の研修の場、交流の場として活用して参りたいと思つております。

ター建設を目ざして軌道に乗せたいと考えております。

このほか、脇本地区運動広場のナイター施設の整備や海洋センターの充実を図り、市民の健康増進、体力づくりに努力いたしたいと思つております。

本道は、台所に直結する行政として安全で安定した水の供給をすることをモットーに日夜努力いたしておりますが、昭和五十九年度は、将来の阿久根市の水資源確保のために高松川流域に深井戸ボーリングの試掘を行う予定であります。また、西目区域の増圧のため幹線の布設替えを計画いたしております。

総合運動公園の建設予定地、B & G 体育館付近

## 食肉が免税市場に

県下で100万未満の売却が対象



免税市場になった、市営食肉センター

市内西の市営食肉センターが、このほど県下で四番目の免税対象市場となりました。これによってセンターで売却される肉用牛百万円未満の備額については所得税が免除されることになりました。

食肉センターは、昭和二十八年四月県下で九番目の簡易と畜場として発足、三十二年に一般と畜場に、年次的に処理場、浄化槽を増設、昭和五十一年には食肉センターとして新たにスタートしました。昭和五十七年には県下の公共施設として初めて枝肉の格付員も常駐し、北薩地区唯一の総合食肉センターとして伸びています。

現在、と殺解体処理能力は、一日豚換算六百頭、年間約十、三万頭、肉牛年間約四千八百頭を処理して

います。

これまで、食肉センターは免税市場でないために、肉用牛の売却に所得税がかかり、市内や出水地区の生産農家は免税市場のある、末吉町や鹿屋市、知覧町まで出荷してまいりました。

市では、農家の経費の軽減をはかるため、昨年度に免税市場の認定を申請していましたが、今年の一月県下二十三のと畜場のうち四番目の免税市場として認定されました。

免税市場の認定により、肉用牛の取り引きで百万円未満の売却について、所得税が免除されることになり、肉用牛生産農家は「遠くまで運ぶ必要がなく、経費の面でも非常に助かる」と喜んでおります。



## 国民宿舎赤字脱却

### 健全な運営へと歩む

国民宿舎におきましては、長い期間にわたって繰り上げ充用などの措置をしながら苦しい会計運営をいたして参りましたが、本年度でようやくその措置をとらないでもよい経営状態になる見込みであることをご報告申し上げます。

このことは、従事職員の努力はもとよりでございますが、議会や市民のご理解、また関係各位の温かいご支援の賜と厚くお礼を申し上げます。今後とも状況は必ずしも楽観をゆるさないものがありますが、「一心を引き締めて経営の合理化とサービス向上に努め、健全な運営をして参りたいと思っております。

このほか、食肉センターでは、牛のとさつ頭数の急増に伴い、けいりゆう施設を増設するほか、門柱の設置などを実施する予定であります。

次に一般的事項として、本年は黒之瀬戸大橋の架橋十周年を迎えますので、関係町と共催でこの記念行事を行います。また、市役所周辺地域環境整備のための周辺土地の購入及び借用をいたしました。

## 市民の期待にこたえるため

### 市長、職員一体となり努力

以上施政の実現につきましては、市長以下全職員が一体となり、地方自治の本旨にのっとり、この厳しい状況下における市政運営に努め、もって市民の負託にこたえ、市勢の発展と市民福祉の向上のため

最大限の努力をいたす所存でございます。何とぞ議会を始め、市民の皆様のご理解をいただき積極的な協力を賜りますよう、お願い申し上げます。私の施政の方針といたします。

#### 阿久根地区消防組合異動

副署長兼警防課長補佐(副署長) 尾塚仁▽警防課長補佐兼子防係長(同課子防係長) 丸尾徹▽総務課長補佐兼総務係長(同課総務係長) 榎原隆義▽消防司令補(消防士長) 西園与四和 尾原篤▽消防士長(副士長) 馬見新鶴 浦善孝、佐藤公人▽消防士長(消防士) 園田重利、井上伸一、入江量徳

## 漁協青年部が奉仕で

### いかしば一千束投入



いかしばを投入する青年部員

「育てる漁業づくりは我々の手で」と、阿久根市漁協青年部(小田原操部長)は、三月十七日水いか用いかしばの投入の奉仕作業を行いました。

これまで、いかしばの投入は市漁協が主体となり市が補助金を出して、業者の手によって行われてきましたが、今年は青年部が「我々が協力します」と奉仕作業をかつて出たものです。

投入場所は大島と新港の中間地点と赤瀬川港の沖合、しばは一千束。

作業には部員四十人と自分たち

の持ち船九隻をチャーターし、これにしばを積み込み、重さ十五・の砂利袋をくくり付けて投入しました。

#### 消防ミニニュース

～一月から三月まで  
三月の火災発生数 5(7)  
救急車出動回数 78(179)



# ために106億円 (一般会計) の予算

## 瀧地区区画整理も準備調査へ

### 鶴川内地区に集会施設

昭和五十九年、第一回阿久根市定例市議会は、三月八日から二十八日までの二十一日間の会期で開かれ、議案二十九件が上程され、いずれも原案通り可決されました。このなかで、昭和五十九年度一般会計予算は七十億九千七百八十万円、これは昨年当初に比べ、一・六%の伸びを示していますが、昨年の当初予算は価格で、肉付けした六月の予算と比較すると約三・一%の伸びとなっています。

七十億九千七百八十万円  
(一般会計)

今年の子算編成は、川畑市長が施政方針で述べたように財源的には昨年にも増して厳しい状況下でありました。事務的経費、管理経費についてはマイナス五%で対応、最小の経費で最大の効果を上げるよう事業費などに重点的に配分し、産業の振興と市民の福祉向上予算を柱におきました。

その結果、昨年当初(骨格)、六月の肉付け予算と比べ約三・二

%の伸びで一般会計で七十億九千七百八十万円、特別会計を合わせると百六億三千二百十五万円の予算規模となりました。

### 市役所周辺土地を購入

#### 住民サービスの行政に

#### 議会・総務費

議会の一億一千四百九十四万円、のほとんどが議員二十四人の報酬と、人件費を含めて議会活動に要する経費です。

総務費では、八十八区長に支給する委託料一千六百三十万円、市役所前周辺環境整備対策費として九

千三百四十九万三千円を計上し、借地二千二百三十一平方メートル購入分として一千五百九十九平方メートルで市役所前周辺環境整備に努めます。

今年退職が予想される市職員の退職手当一億七千二百万円、退職手当準備基金と財政調整基金積立金

歳入を見てみますと市税が約六千九百万円、六・二%と伸びたものの依然として国や県の支出金、市債に頼っているのが現状で、自主財源は二十四億七千七百七十八万円、全体の三四・九%で、六五・一%四十六億二千一百万円が依存財源となっています。

歳出での予算の構成比は民生費が二七%、農林水産業費十五%、土木費十四%などです。

歳出予算の主な内容を次に紹介いたします。

#### 青年の家条例など可決

##### ○市税条例の一部改正

(内容) 昭和五十八年度分の所得税に係る臨時の特例措置として、昭和五十八年度分の個人の市民税に係る負担を軽減するため、昭和五十九年度分限り個人の市民税について特別に減税を行うものです。

主なものでは配偶者控除、扶養控除、基礎控除の現行「二十二万円」に七千円加算して、控除額を「二十二万七千円」に引き上げようとするものと、配偶者控除、扶養控除の適用対象となる者の所得要件について、給与所得に係る所得額を現行「二十九万円」を「三十万円」に引き上げるものなどです。

○阿久根市長選挙立会演説会条例の廃止

(内容) 公職選挙法の一部改定(昭和五十八年十一月法第66号、最近の立会演説会の実態等「聴衆の割合の低下、テレビ等による政見放送など」)にかんがみこの制度は廃止する)により、市長選挙立会演説会条例の廃止。

○市営住宅の設置及び、管理条例の一部改正条例

(内容) 折口団地に建設された



# 一般会計 70億9千万円の内訳

歳 出

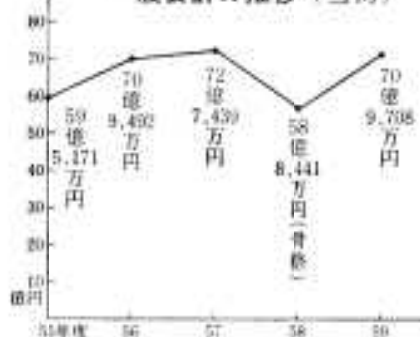
1億1,494万円	議会費
3億6,989万円	総務費
19億1,577万円	民生費
2億1,903万円	衛生費
2億2,232万円	労働費
30億6,393万円	農林水産費
6,311万円	商工費
9億9,380万円	土木費
1億8,777万円	消防費
8億0,236万円	教育費
6億3,018万円	公債費
1,453万円	災害復旧費 支拂金 子備

歳 入

11億1,911万円	市 税
20億7,590万円	地方交付税
11億6,939万円	国庫支出金
4億9,206万円	県庫支出金
3億9,969万円	雑入金
7億4,143万円	諸収入
7億6,060万円	市 債
3億3,952万円	地方譲与税 自動車取得税交付金 交通安全対策特別交付金 分担金及び負担金 財産収入など

# 市民の

一般会計の推移（当初）



子算の二七％、十九億一千五百七十七万円を占める民生費では、まず、心身障害者福祉費として二億二千九百一十五万円を予算化。これは施設に入所している精神障害者、身体障害者一億三千六百六十九万円と重度心身障害者医療費二千五百五十一万円、福祉手当五千六十四万円、身体障害者自立更生のための貸付け金百万円、スポーツ大会負担金などが主で、心身障害者の方々が安心して暮らせるよう予算措置しました。

老人福祉関係では、老人ホームなどに入所しているお年寄りの経費一億二千五百五十九万円は、きゆう施術料などの補助百六十三万円、老人保健医療特別会計への繰出金六千三百五十二万円と単位



老人クラブ育成補助などへも引き続き予算を盛り込みました。市内三私立の保育所に入っている子どもたちの措置費一億三千四百九十四万円、生活保護世帯（原世帯58・12・1現在）の生活、住宅、医療など扶助費三億二千三百三十三万円などでした。

衛生費では、救急医療の目福、夜間の医療体制の充実を図るための委託料と補助金八百五十九万円を予算化。好娠中期の婦人と乳児の栄養対策として粉ミルクを支給する経費七十七万円も予算計上しました。

市民・衛生費

## 老人クラブにも 引き続き補助 健康と幸せを願って

- 市営住宅の家賃など（月二万二千五百円）を定めたもの。
- 阿久根市地区集会所の設置及び管理条例
- （内容） 林業構造改善事業で建設した吉里、田代下、馬見塚、大浦の各集会所の管理条例
- 熊本地区運動広場の設置及び管理条例の一部改正条例
- （内容） 夜間照明の設置に伴い使用料を定めるもの（夜間照明施設を使用する場合、二時間九百円）
- 市奨学条例の一部改正条例
- （内容） 授業料の値上げによって大学生の奨学金現行「一万八千円」を「二万一千円」に引き上げるものです。
- その他可決された主な議案
- ▽阿久根市立図書館設置並びに管理条例の一部改正条例
- ▽青年の家条例
- ▽昭和五十八年度一般会計、各特別会計（簡易水道、水道事業会計は除く）の修正予算議案
- ▽昭和五十九年度一般会計、各特別会計、水道事業会計の予算議案
- ▽市議会議員等の報酬等に関する議案
- ▽市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ▽阿久根市が行う、土地改良事業の概要について

# 58年度もいろいろな 事業を行いました

写真特集



浦地区4.1の構造改善事業も一工区が完成



倉津には漁民研修施設も完成



紫尾林道と結ぶ林道仁床線も開通

## 新田地区のホ場整備に調査費 いちごの電照栽培にも補助

豊かな暮らしを目ざして

労働・農林水産商工費

労働費二億二千二百三十二万円のはほとんどが失業対策費で、失業対策事業就労者の賃金、共済費などと、道路の維持、材料代、それに働く婦人の家の管理費が主なものです。

一般会計の十五%を占める農林水産費では、まず、振興費四千三百六十六万円は、水田転作立会人、地域農業集団育成事業の推進員謝金など七十四万円、丸内、桐野、浦ほか十二地区の農業集団育成事業委託料百三十万円など、補助事業としては、昨年度から実施しているエンドウ、ソラマメ

の早期出荷対策のハウス設置費一千二百二十九万円、阿久根市農協が事業主体となって実施する「ふるさと味の味」加工事業に一千二百七十一万円、いちごの早期出荷のための電照栽培事業にも補助します。

市単独の補助としては、ソラマメ、エンドウの連作障害対策土壌消毒事業二百九十万円などです。農地費では、臨本の新田地区八十二石のホ場整備事業の調査設計委託料として八百万円を予算化、六十年事業実施に向けて作業を進めていきます。負担金と補助事業については、県単農道補装として秋田桐野線、倉津線分一千六百七十三万円、県宮広域農道ほか二線分の負担金二千五十万円など、市単独では、尾崎地区の用水路改



折多のたん水防除事業も完成

良事業外七地区分、急坂補装に本年度から補助率を引き上げて実施します。木場仁田地区ほか五地区分を計上しました。

### 飛松、柘、馬見塚と 大川の一部を 国土調査

国土調査費では、本年度実施する飛松、柘、馬見塚、大川の一部四・八平方分の調査費用五千二百八十万円を予算化しました。

ダム管理費では流木、流塵防止施設の建設費九百万円を計上。

構造改善は赤瀬川浦地区と本年度から二か年事業で実施する桑原地区初年度分九・一石の事業費一億一千四百二十二万円を盛り込みました。

林業費では、辺地整備事業約二千三百万円、田代地区に山村開発研修センターを設置し、地区民の研修の場として活用を図るほか、作業道城山線の開設事業にも補助します。

また、鶴川内地区に約四千五百八十六万円を集金施設も設置します。

水産費関係では、引き続き稚ウニの放流を実施します。阿久根市漁協が実施するいかしば、稚魚放流事業にも九十万円補助します。

漁港の建設では臨本港（深田地区）、牛之浜港の改修を実施する



上野都市下水路事業で池尻川も年々改良される



住宅難の解消に市営住宅の建設も進む(折口団地)



子どもたちの遊び場、公園も新設(下木場公園)

道路新設改良関係では、四億一千四百三十万円を予算化し、過疎対策事業で高之口山下線など六路線臨時地方道整備事業で赤瀬川線は

ほか、阿久根港も防波堤、護岸等の修築が行われます。育てる漁業づくりのスタートとして、県が栽培漁業センターの調査費を計上。市では六十年事業実施を目標に作業を進めます。

## 住み良い環境づくりを

### 快適な暮らしづくりを

商工費では物産展や観光宣伝費、新観光ルート施設整備費が主で、大島と臨本海水浴場の案内板、待合所、便所の整備費一千五百二十万円、夏まつり行事などへも従来通り補助しました。

### 土木・消防費

が四線、発電用施設周辺整備事業で中央線(長野区)辺地対策整備事業で飛松落線、市単独で此之志線など四線をそれぞれ新設改良します。

また、橋之浦深田線ほか一線の測量委託料七百一十万円も計上しました。

### 高之口、大漣、小漣港も改良します

里道では、前田村中線、湖地区線の整備費にも補助します。古里村中線の架けかえ予算四百八十万円などと交通危険箇所へのガードレール二百六十基、ロードミラー三十基分にも予算措置しました。港湾建設では、高之口港、大漣港、小漣港の防波堤、物揚場などを引き続き改修と局部改良を行います。都市下水路事業は、五千一百万

で五十九年度も池尻川の下流百八の排水路の工事を行うほか、湖地区の都市区画整理の事業計画に本年度から着手するための準備予算も盛り込んであります。住宅不足の解消に市営住宅八個を建設する予算七千三百三十三万円も予算化しました。

### 三笠中の危険校舎も改築

#### 健全な教育をめざして

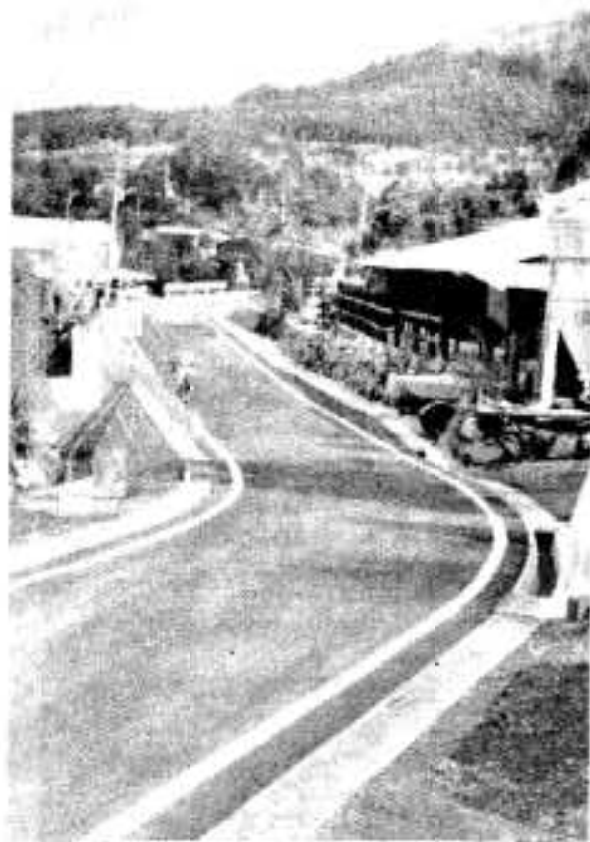
### 教育費

教育費の事務局費では、奨学金貸付基金への繰出し金三百万円、これは学資の支払いが困難な人に市が資金を貸し付けようとする奨学金制度で、今年は大學生への奨学金をアップしてあります。公立学校共済が昭和五十四年度から五十八年度までに建設した教頭、校長住宅十二戸分の購入費も予算化しました。

学校管理費二億九千三百四十八万円は、市内十六の小中学校の校舎の電気、水道料、修繕、警備委託などのほか、要、重要保護児童の給食、医療費扶助費が主なものでした。



いこいの森入口には総合案内所も完成



辺地総合整備計画で立派に改良された古里松ヶ根線



国道5号と環状本バイパスも全線開通へ向け急ピッチで工事が進む(鶴田の橋脚現場)



### 「われは海の子、 大きな心育成 事業」も取り入れ

学校建設費では、大川小学校危険校舎改築事業費として三千八百五十三万円、尾崎小プール建設費三千八百八十六万円、三笠中学校危険校舎改築事業、阿久根中学校改築事業費として九千八百七十七万円も計上しました。社会教育費関係では、成人教室などの講師謝金二百九十九万円、子ども育成会、青年団、文化協会など民主団体体育成負担金及び補助金三百七十八万円、

「青年の家」の管理費として三百六十三万円も予算化し、青少年の健全育成の場として活用してもらいます。

保健体育費関係では、各種スポーツ大会の賞品代、体育協会、スポーツ少年団、県民体育大会への出場補助金など、

施設費としてグラウンド、体育館の光熱水費、委託料など管理に伴う費用七百七十六万円。

総合運動公園の基本設計委託料として三百九十万円、用地追加購入費二千五百万円を予算化し、グラウンド周辺を総合運動公園に整備するため、本年度から本格的に事業がスタートします。

このほか、鶴本地区の運動広場にナイターを設置する経費一千二

百五十万円も予算化、社会体育の振興を図ります。また、本年度から「われは海の子、大きな心育成事業」を取り入れ、海を利用した、強くたくましい子ども育成に努めます。その予算としてカッター、カメラなどの購入費を計上してあります。

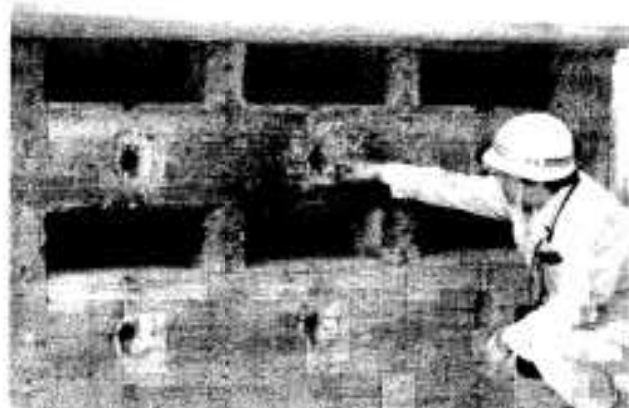
### 水道事業会計

収益的収入は二億一千五百四十四万円、支出は二億二千三百三十三万円で、収入は水道料金一億九千七百八十八万円など、支出は水源池の電気料、減価償却費でした。

資本的収入は四千六十六万円、支出は七千八百七十四万円で、収入は上水道を整備するための企業債四千万円、支出は建設改良費の七千二百二十二万円が主で国道三号の配水管布設管工事費などと企業債償還金でした。



港の整備も急ピッチ。護岸が完成した高之口港



タコとイセエビ、ウツボの習性をうまく利用した  
全国でも初めてのイセエビ用の魚礁も投入



教育環境も充実される（脳本小の新校舎）

# 特別会計は35億円

## 国民健康保険

事業勘定の歳入歳出予算は十八億四百六十一万円、歳入は保険料六億四百六十七万円など、歳出は保険給付費十一億九千二百七十七万円が主なものです。

直営診療施設勘定の歳入歳出予算は三千五百四十二万円です。

## 簡易水道

歳入歳出の子算総額はそれぞれ三千五百二十万円、歳入は使用料三千二百八十万円、歳出は公債費が主なものです。

## 交通災害共済

歳入歳出予算は七百五十四万円、歳入は共済会費六百二十万円が主で、歳出では見舞金五百六十四万円など。

## 食肉センター

歳入歳出予算は一億一千三百四十一万円、歳入は使用料がほとんどで、歳出は電気水道などの施設管理費五千三百九十九万円と公債費が主なものでした。

## 冷蔵庫

歳入歳出予算は一千八百九十九万円、歳入は冷蔵庫使用料一千七百万円がほとんど、歳出では電気料などの管理費と広場整備工事費など。

## 国民宿舎

歳入歳出予算は二億五千四百九十九万円、一億五千四百四十万円が営業収入、歳出は食糧等材料費九千六百二十四万円と電気、水道料などの管理費、三千三百五万円の公債費でした。

## 老人保健医療

歳入歳出予算は十二億六千四百四十四万円、医療費交付金八億八千二百五十一万円、医療費負担金二億五千二百四十四万円などが歳入で、歳出は医療費、療養費など。

## しめやかに 灰塚供養



五十八年三月十六日から五十九年三月二十日まで、市の火葬場を使用した方々のごめいふくをお祈りする灰塚供養が、三月二十一日行われ、市民や関係者二百五十人が出席し、故人のごめいふくをお祈りしました。

# 市職員異動

## 四月一日付 ○印昇格者

▽会計課長(商工観光課長) 倉島俊夫  
 ▽市民課長(建設課長) 瀧永秋義  
 ▽税務課長(国民宿舎支配人) 馬見新純  
 ▽商工観光課長(市民課長) 磯畑節夫  
 ▽水産課長(教育委員会図書部長) 浜田健一  
 ▽建設課長(都市計画課長) 新町昭男  
 ▽都市計画課長(同課技術補佐兼都市計画係長) 尾原務  
 ▽国民宿舎支配人(農政課長補佐兼農政係長) 宇都松喜  
 ▽三笠支所長(食肉センター所長) 寺地世界  
 ▽食肉センター所長(議事事務局次長兼議事係長) 新柳馨  
 ▽農政課長(同課技術補佐兼林政係長) 樋口雅  
 ▽会計課長(選挙管理委員会) 桑原祐示  
 ▽税務課長(会計課長) 大田安右衛門  
 ▽建設課長(事務課長) 弓場庄藏  
 ▽福祉事務課長(二三笠支所長) 松木剛  
 ▽財政課長(大川出張所長) 川畑克己  
 ▽保険衛生課長(同課長補佐兼保険係長) 浜田徹  
 ▽選挙管理委員会事務局次長(水産課長) 福田明  
 ▽教育委員会図書部長(建設課長補佐兼庶務係長) 村山好弘  
 ▽企画課長補佐兼統計調査係長(保険衛生課長) 新塘七郎  
 ▽農政課長補佐兼農政係長(企画課長補佐兼統計調査係長) 鶴田良平  
 ▽保険衛生課長補佐兼保険係長(水道課長補佐兼管理係長) 黒水敏  
 ▽保険衛生課長補佐兼防犯係長(福祉事務所長補佐兼庶務係長) 池脇忠志  
 ▽建設課長補佐兼管理係長(総務課長) 山口一人  
 ▽都市

計課長補佐兼管理係長(総務課長) 若松好房  
 ▽福祉事務所長補佐兼社会係長(同所社会係長) 新町春次  
 ▽水道課長補佐兼管理係長(同課管理係長) 大川出張所長心得 大川謙  
 ▽診療所管理係長(浅野一男)  
 ▽議事事務局次長兼議事係長(都市計画課長補佐兼庶務係長) 関寛  
 ▽農政委員会事務局次長兼管理係長(水産課水産係長兼水産流通加工係長) 有田勇吉  
 ▽教育委員会庶務課長補佐兼庶務係長(同学校庶務課長) 小原勲  
 ▽同庶務課長(同庶務課長) 松山教生  
 ▽農業委員会事務局次長(同事務局次長兼管理係長) 石沢進  
 ▽総務課長(同係) 富浜哲美  
 ▽同行政係長(同係) 鮫島善光  
 ▽市民課国民年金係長(商工観光課長) 島飼光晴  
 ▽農政課林政係長(建設課失業対策係長) 谷口幸男  
 ▽同畜産係長(福祉事務所老人課) 青條長  
 ▽農神公生  
 ▽商工観光課長(市民会館) 富吉昭一  
 ▽水産課水産係長(農政課農政係長) 牛之浜誠  
 ▽建設課維持係長(同課道路維持係長) 平田修平  
 ▽都市計画課都市計画係長(土地改良課耕地係長) 若松洋  
 ▽福祉事務所老人課係長(市民課国民年金係長) 田島貞夫  
 ▽会計課長(同課管理係長) 新塘修平  
 ▽大川診療所管理係長(総務課職員係長) 川畑次美  
 ▽市民会館(事務補兼教委会教育課社会教育係長) 会計課長 川畑文男  
 ▽水道課長(二三笠支所) 藤原長  
 ▽石沢正助  
 ▽企画課企画開発係主任(福祉事務所) 保田清  
 ▽教育委員会庶務課財務係長(税務課課長) 佐野信義  
 ▽同学校教育課管理係長(同庶務課庶務係長) 池田真一  
 ▽派遣北藤広城事務組合(農政課畜産係長) 花田達朗  
 ▽総務課(福祉事務所) 鮫島園芳  
 ▽同(税務課) 上藤良美  
 ▽財政課(税務課) 福崎鈴子  
 ▽税務課(農業委員会事務局) 内園由幸  
 ▽同(建設課) 松田高明  
 ▽同(保険衛生課) 小瀧みゆき  
 ▽土地改良課(市民課) 川畑洋一  
 ▽建設課(土地改良課) 松永正美  
 ▽福祉事務所(税務課) 浜崎良一  
 ▽同(保険衛生課) 山下道郎  
 ▽二三笠支所(建設課) 京田正憲  
 ▽議事事務局(財政課) 久木山久代  
 ▽教育委員会(議会事務局) 尾上美枝子  
 ▽西目保育所(折多保育所) 倉津由美子  
 ▽大川保育所(尻無児童館) 中野登代子  
 ▽折多保育所(鶴川内児童館) 東頼子  
 ▽尻無児童館(牛之浜児童館) 浜田友子  
 ▽赤瀬川児童館(大川保育所) 田中文子  
 ▽鶴川内児童館(西目保育所) 富吉美佐子

の市内は、この店で買おう



市内高松 柳 司さん(50歳)

### 図書館だより

## 今月の新刊



▽はい、親子読書の話です。榎高雄著「戦国大名蘭集」島津氏の研究(福島金治編)▽青春の源流(本流篇)森村誠一著▽静かなる良人(赤川次郎著)▽赤き悪魔の喉笛(山本忠三著)▽平家伝説

人事件(内田康夫著)▽愛、見つけな(小林定吾著)▽海恋い海難漁民と女たち(真尾悦子著)▽現代語で読む、学問のすゝめ(福沢諭吉)▽いまりーターがなすべきこと(鈴木健一著)▽頭脳トレーニング(有

澤誠著)▽札幌着23時56分(西村京太郎著)▽親と子の絆(河合肇雄他2編)▽子どもをあずけて働くという(佐藤洋子著)▽一九九三年秋・日本クイズ(京伏哲郎著)▽月の砂漠の歌(乃阿一著)▽海燃ゆる(相沢惣治著)▽風が死ぬ時(鈴木治美著)▽酒は道づれ(河竹登志夫著)▽夏草の女たち(落合忠子著)

「ともたちの作品」と「わたしの十八番」は休ませていただきます。五月号は予定どおり掲載いたします。お楽しみに。

# サークル紹介 ⑥

## 喜楽会 (踊りグループ)



喜楽会とは、毎日働くばかりで別に楽しみもない時に気休めにと皆集まり、踊りを踊って楽しもうという会で、毎月三、四回公民館に踊りの先生をたのんで練習を続

けている平均年齢六十歳の老人たちです。  
とかく経済優先になりがちで、人々の心は時にトゲトゲしく、時に孤独に陥ることもしばしばです。今こそ人々の心に潤いを、との思いを新たにします時、ふっと私たちの余生を楽しく長生きするには笑う事が健康の元、と先輩から語り継がれている事を思い出して踊り続けております。

### 喜楽会の足跡

昭和五十三年発足。五十四年鹿児島県民謡民舞連合会に入会、同十一月県文化会館にて演芸大会に出演、好評を得る。五十四年出水郡・藤原郡・始良郡の三郡旅券交歓会を結成、宮之城温泉で再び舞踊の交歓会を開く。五十七年県下旅券会員集合会結成。五十八年十一月大口市文化会館で旅券演芸大会を開く。

## 阿久根歌壇

### 折田憲司選

それぞれに病持つ人ら持合ひて誰のなかにも我も交はる

養子先を追はれし善子を慰むる妻の古すなはち吾の哀しみ

〔秀逸〕  
出撃の明日に迫りし夜の兵舎低く  
童謡うたふ兵ありき

高松 野村 徳七

海 川畑 ヨツ

赤瀬川 葉瀬 紀夫

〔評〕戦争は人間の弱さを赤裸々に抉り出す。恐怖と緊張の漲る戦場の記憶は風化するが無いく。

小鳥啼く声爽やかに目覚めたり傍に優しき母はるなくも

投稿希望者は官製ハガキに三百頁以内  
阿久根市本町一三〇

大川 花田 幸男

折田 憲司 宛

## あくねのみんわ ⑳



### 新蔵文旦

幕末のころ、馬見塚に新蔵といふ百姓がいました。篤農家で、新しい品種を導入することに情熱を燃やし、町をみつけては、各地を見聞し、農作物の新品種があれば持ち帰り、広く普及しました。



新蔵はこれは波留の文旦よりも立派な品種ではないかと思ひ、この家を訪ねました。主人は未亡人で愛想よく「実は紅色の甘酸ばい味であり、後一か月すると食べられる」と話してくれました。  
その後、度々この家を訪ねるうちに女主人と仲良くなり種子島で三年も過ごしてしまいました。三年目の秋を迎えたある日、新蔵は女主人に阿久根に帰ることを告げました。すると女主人は形見にと文旦の苗木を贈ってくれました。  
新蔵は喜びわが家に帰ると、最も日当りのよい庭先きに植え、種子島を恋しつ、朝夕丹精こめて育てました。

明治のころ、種子島に渡った新蔵は、いつものように行商の棒油を一軒一軒巡りながら売り歩いていました。すると、ある農家の庭先に、郷里のものより大きな文旦が、枝もたわわに実のついているのが目につきました。

数年たって文旦には花が咲き美事な実をつけました。種子島の文旦もつくりでした。新蔵は喜び、村人に種子を与え栽培法を教えたので、馬見塚地区はいつの間にか静かで豊かな文旦の里となりました。昭和六年四月七日の大火で古木は焼失しましたが、また植えられました。馬見塚文旦は紅色で甘酸ばい淡い恋の味がするといわれます。

### 花、苗木に人気

#### 人形市にぎわう

阿久根市の三大市の一つ人形市が三月九日行われ、花や苗木などを買い求める市民で一日中にぎわいました。



苗木など買い求める市民

旧暦の二月七日行われているこの市、昔は桃の節句にこの市で人形を買って贈っていたので人形市と呼ばれています。

本則通りには植木や衣類、おもちゃ、カマ、クワ、竹製品など九十の露店が軒をつらね、市民が朝早くから出て品定めをしたりして人形市を楽しんでいます。

## みんなの広場

皆さんの周りで起きたニュース、話題など、なんでも結構です。広報係へお寄せください。  
☎①211 内214

がんばってます



牛之浜 徳 衛さん(68)

塩干菜への日雇いや農業に頑張っています。市内牛之浜

## 「楽しかったなア」

152人に修了証

＝光礁大学閉講＝

五十八年度市の光礁大学の閉講式は、三月七日中央公民館で行われ、一年間五つのコースで勉強された百五十二人に修了証が贈られました。

光礁大学は昨年の五月文芸、書道、大正琴、民謡、民謡の五コースで閉講され、毎月一回勉強して



新坂邦さんらに修了証が贈られました。

### 十九人が修了

水産教室 二人が漁業に従事

阿久根市の五十八年度水産教室の閉講式は、三月三日阿久根市漁協の会議室で行われ、十九人に修了証が贈られました。

市の水産教室は、若い漁業後継者づくりをねらいに、昭和四十年から始まり、これまで四百三十人の修了生を出し、このうち百人ほどが漁業の担い手として市内で頑張っています。

昭和五十八年度も三つの中学校から二十六人が入講し、八月の開講以来毎月一回航海術、漁具の作成、水産試験場視察など、漁業知識を勉強してきました。

閉講式には全課程の修了者十九人と漁業関係者が出席、川畑市長が「水産教室で学んだことをこれから的人生に役立ててください」と激励し、一人ひとりに修了証を手渡しました。

今年は何久根中の新町政治君と三笠中の福浦勲三君の二人が地元に残って漁業に従事します。

### 交通事故相談日

5月11日(金)

場所

市民相談室

### 図書代金69万円

#### ロータリークラブ寄付

このほどクラブ結成十周年を迎えた、阿久根ロータリークラブ(中村信行会長)から、市に図書購入費として六十万円が贈られました。

市では、図書館に「ロータリー文庫」を設け、市民に開放することをしています。



# 桜の下で剣道、相撲、踊り

## 中央公園で桜祭り



桜の下での相撲大会

田三月十日祭りを兼ねた桜祭りが四月一日、中央公園で行われにぎわいました。市の観光協会が主催して行ったものです。

この日は肌寒く、あいにくの曇り空でしたが、中央公園に植えてある大小三百本の桜は六分咲きでちようど見ごろ、絶好の桜祭りとなりました。

午前中は市内小中学生による剣道や相撲大会が行われ、元気を杖を披露し、つめかけた市民から歓声があがっていました。

特設舞台では踊りやカラオケ大会も行われ、桜の下で市民が楽しんでいました。

## ハイ/元気だよ



田上 菜美ちゃん(二歳)  
市内横手  
田上利和さんの長女

## わたしの

### お父さん ③

市内飛松

桐野 淳子(11)



桐野古秋さん(39)

私の父は、外国で、一年に二回くらい、か家に

帰って来ません。遠くは、オーストラリアまで行くそうです。今は、家に帰ってきて、いっしょに遊んでくれます。家で遊んでいる時は、とてもおもしろい父です。父はどこもお酒が好きで、楽しんで飲みながら、船での仕事の様子を話してくれます。広い海上での生活をしているのにと、はげましてくる父は、とても頼りになります。いつまでも元気で働いてほしいです。

## 脇本馬場が優勝

### 春季グレートボール大会

市グレートボール協会主催の春季グレートボール大会は、三月十三日市内から四十五チームの老人クラブが参加して総合クラウンズで行われ、脇本馬場Aチームが優勝しました。二位波留B、三位上野、新野でした。

## 大尾組が一位

### 市内オリエンテーリング大会

市内オリエンテーリング大会は、三月二十日総合グラウンド周辺で行われ、小中学生百十人が参加。四十九人で組をつくり、約

### あつ見つけたぞ



五・七、のコースに設置してあるポイント探しに頑張りました。成績は次のとおりです。(名前は組の代表者です)

- 一位大尾達也 二位山口一秀
- 三位竹原尚志 四位丸尾修 五位浜崎幸一 六位川畑道教

## むかしの

### 子どもの遊び

#### チヨロツジヨ

(お手玉)



長方形の布切れで袋型の袋を作り、その中に数珠玉・小豆・大豆・小石などを入れたものがお手玉です。手につかんだ二、三個のお手玉を一個づつ空中に躍らしてはつかみ、つかんだものをまた、次々に空中に躍らして地に落ちないように繰り返します。落ちたら負けとなります。

# お知らせ

行事催物など  
どしどしお寄せください  
③1211内線214

## 前期技能検定の案内

4月24日まで申し込み

五十九年度の前期技能検定試験が次のとおり行われます。

○実施職種

左官、ブロック建築、板金、塗装、造園、洋裁、鉄工、サッシ施工、とび、建設機械整備、スレート施工、フラワー装飾、園芸装飾など三十二職種です。



○申請書の受け付け期間  
四月十三日から二十四日まで  
○試験実施期間  
六月二十二日～九月十七日  
○その他  
申請書は市の建築課に備えてあります。詳しくは同課

来、確実に給付を受けるためには、正しく保険料を納めねばなりません。  
保険料は、一月五千八百三十円です。また、将来より多い年金を希望する人に設けられた付加保険料は、一月四百円です。  
なお、四月からの保険料は、六月一～十日に引き上げられます。付加保険料は従来どおりです。

## 四月は最終納期 五十八年度の国民年金

四月は、昭和五十八年度分の国民年金保険料の最終納期です。納め忘れがないか、今一度確かめてください。  
国民年金には、老齢・通算老齢年金のほか、障害年金、母子年金などがあり、安定した生活を送る支えとなっています。将

## 光礁大学などの受講生を募集 申し込み期限は4月25日まで

市の教育委員会では、昭和五十九年度お年寄りなどを対象にした学級の受講生を募集しています。  
学級名は光礁大学、熊本高師、若狭大学、大川高師、大川成人教育、中央成人教育、成人大学、生活学門です。  
学級の期間は五月から六十年度の二月までです。申し込み期限は四月二十五日(水)となっています。

なお、受講料は無料です(個人で使う用具など自己負担)

学級について詳しくは、市の教育委員会社会教育課へ。



## 不用犬 引きとり

四月二十四日、五月八日  
午前十時から十時半  
保健センター

## 給油所の日曜当番店

五月十三日 松永石油(牛之浜)  
二十日 田中石油(大川)  
二十七日 寺下石油(熊本)

## 編集後記

春満開、桜満開の下、真新しい制服に身をつつみカビカビのランドセルを背中にかけた新一年生が、いっちゃんやねえちゃんに手を引かれ学校へ通う元気な姿が見られます。

新人学おめでとう。  
楽しく勉強や運動に頑張ってください。



## 社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございました。ごさいました。(敬称略)

中山邦夫(高松)、園田ツミ(園田)、若松ツギ(尻無上)、鶴園スエノ(同)、尾原一治(尾原)、末吉喜良(渡矢)、原崎和人(本町)、土田純夫(大丸)

## 篤志寄付

六浦会より、第二回チャリティマラソン、ソフトボール大会の募金一万七千八百三十円

## 塩づけワカメ 60キ口贈る

横手さんから五人

市内横手の横手良子さんから五人が三月十五日、社会福祉協議会に塩づけワカメ六十キ口を贈りました。市内新町の新町サダエさんがトラック一台分五百キ口を五人に贈ったもので、五人は「塩づけして施設に提供しよう」と、一週間かけて作業し、塩づけワカメに仕上げたものです。

社会福祉協議会では、さっそく「愛宕園」「聖園」「桜ヶ丘荘」「蓮の実園」に贈り、喜ばれました。

昭和五十九年四月十日

鹿児島県阿久根市役所編集発行